

安全上のご注意

商品を安全にご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項です。

第1章

安全にお使いいただくために

外装材についての注意事項

⚠ 注意



[禁止]

高所作業を伴う点検や補修、再塗装は、絶対にお施主様ご自身で行わないでください。
転落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

外装材の表面は、直射日光で熱くなることがあります。
やけどなどしないようご注意ください。

お願い

点検や清掃を行う際は、外装材に直接ハシゴや脚立を立てかけないでください。
外装材がへこむなど、商品の破損につながるおそれがあります。

外装材表面のすり傷を補修する場合は、専用塗料で最小面積を補修してください。
専用塗料以外の塗料を使用すると、本体塗膜と耐候性に違いが生じ、
時間が経過すると変色するおそれがあります。

再塗装や補修工事、配管工事は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、または当社お客様相談室まで、お問い合わせください。

ご使用にあたって

商品を長く正常な状態でご使用いただくために、日常生活の中で気をつけていただきたい事項です。

●外装材の点検について

長期間ご使用になると、汚れやカビなどが付着する場合があります。
定期的に清掃、点検を行ってください。

(→ P.9「第2章 お手入れ」)(→ P.17「第4章 保守点検」)

知っていただきたい現象

第1章

安全にお使いいただくために

日常生活の中で『何かおかしいな…』と覚めることがある現象も、窓の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

■ 外装材の音鳴り現象について

金属サイディングは、材料本来のもつ熱伸びの特性上、朝、夕の太陽光による温度変化で、わずかなキシミ音等が発生するケースがありますが、性能上問題はありせん。同様に熱伸びで若干の反り、ひずみ等が発生する事もありますが、温度低下と共に緩和され性能上も問題はありせん。



■ 白亜化現象（チョーキング）について

外装材の表面に樹脂塗料を塗布している商品は、ご使用いただいている間に紫外線、風、熱、雨など様々な環境要因によって少しずつ色や艶が褪せてきます。更に長い期間が経過すると塗料の塗膜が劣化して白っぽいチョークの粉をふいたような状態になることがありますが、これは白亜化現象（チョーキング）と呼ばれている、経年劣化です。

白亜化現象（チョーキング）は避けることが出来ないものですが、表面に付着した汚れを早めにお手入れをしていただくことで、その経年劣化の進行を遅らせることは可能です。

経年劣化による白亜化現象（チョーキング）の進行を遅らせるポイント

- 外装材の表面に付着した汚れを早めにお手入れする。

■ 外装材の表面温度について

外装商品は、屋外に取り付けられているため、長時間直射日光が当たると、表面温度が非常に高くなる場合があります。特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇します。直射日光が強い時間帯はやけどをするおそれがありますので、素手や素足で触れないようご注意ください。

外装材の腐食について

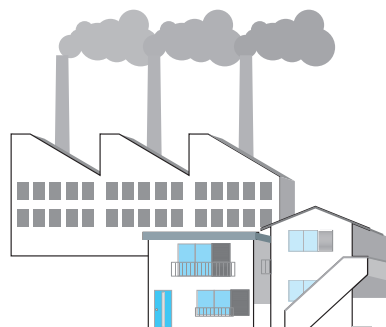
● 海岸に近い地域の場合

大気中の海水からの塩分が外壁に付着し雨水などで溶解して腐食となります。また、海岸地帯は風も強く砂塵などによる塗膜面の摩耗なども考えられます。



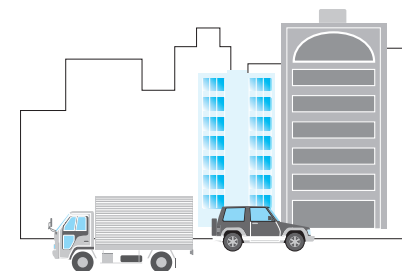
● 近くに工場などがある地域の場合

たとえば金属精錬工場ではコークス・重油などが燃料に使用され、ばい煙として硫黄や塩素成分のガス（亜硫酸ガスなど）が排出されます。こういった汚染物質が雨水などで溶解され、塗膜の微細な穴（ピンホール）などを通じて素材の腐食へと進んでしまいます。また、工場から排出される金属の微細なちりも腐食の原因と考えられます。



● 都市部や商業地域の場合

交通量の多い幹線道路に面していたり、近くにあったりすると、自動車の排気ガスに含まれる亜硫酸ガス（ SO_2 ）などが原因で腐食すると考えられています。また、スモッグなども汚染原因の一つです。



● その他

- ・ 外装材から突き出たストーブなどの煙突や風呂釜から排出される煙（燃焼ガス）が直接あたる様な箇所も汚染されます。
- ・ 国内の工業地域や都市部以外でも日本海側一帯の地域では、亜硫酸ガス（ SO_2 ）の沈着（一般的には酸性雨と言われる pH5.6 以下の雨のこと）が多い環境とされています。海岸地域に限らず、内陸部・山間部においても腐食環境とされています。
- ・ 太陽光からの紫外線は塗膜の変色・退色の原因となります。
- ・ 建物北面や日陰になる外装材は湿気がこもりやすく、カビや苔が増殖しやすい環境と考えられます。

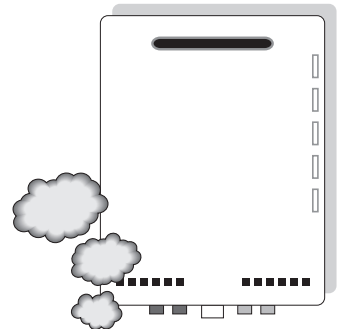
ガス給湯器などの排気ガスによる腐食について

ガス給湯器などからの排気ガスが、アルミ部材の塗膜のはがれなどの表面異常の原因となる場合があります。

ガス給湯器などの排気ガスの成分には、微量ながら硫黄分が含まれている場合があります、この硫黄分が空気中や排気ガスの水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような強い腐食性の酸を作ることがあります。

これらの酸が塗膜表面に付着すると、塗膜自体を劣化させ、塗膜の下のアクリルに達し、アクリルとの化学反応によって塗膜のはがれなどの表面異常を引き起こすことがあります。

また、ガス給湯器や車の排気ガスが直接当たらなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアクリルを使用した場合でも塗膜のはがれなどが起こるおそれがあります。



腐食を予防するポイント

- ガス給湯器および車の排気ガスが直接アクリルに当たらないようにする。
- 排気口近辺にアクリル製品を設置する場合は、こまめにお手入れし、周辺の通気を確認したうえで使用する。